



澄心

発行日 令和3年 1月 8日

発行 二本松市立安達中学校

二本松市油井字田向100番

53 - 2104 FAX53 - 2105

責任者 渡邊 健順

8日(金)から3学期がスタートしました。今年は、コロナ禍の中、例年にない新年を迎えることになりました。年が明けてもまだまだ油断できない状況が続いております。学校としても継続して感染予防には努めていきたいと思っております。そのような中でも、始業式には、生徒達の元気な姿が見られとても嬉しく感じました。3学期は短い学期ですが、3年生は高校入試や卒業式、1・2年生は進級に向けた準備と忙しい学期になります。新型コロナ感染防止に努めつつ、充実した学期となるようにしていきたいと思っております。今年もよろしくお願いいたします。

第2学期学校評価の結果と分析・考察をまとめました

2学期末に実施した学校評価(生徒・保護者・本校職員対象)の結果を集計し、評価結果に基づく分析や考察を全職員で行いました。今回お示しする数値データは、1学期末の平均値と2学期末の平均値、比較値を掲載しています。評価値のうち2.9以下のところは網掛けに、また3.5以上のところは下線を引き太枠で囲みました。今回の評価や分析・考察をもとに、学期の教育活動をさらに充実させるよう、職員が一丸となって取り組みます。今後ともご支援・ご協力をお願いします。

(評価値 4:「よくあてはまる」 3:「あてはまる」 2:「あまりあてはまらない」 1:「全くあてはまらない」の4段階)

質 問	評 価 値 平 均 【 】内は1学期末のデータ・()内は前回は			分 析 ・ 考 察
	教師	保護者	生徒	
【知性】自ら学習する生徒 教師主導・説明偏重にならないよう、授業では、生徒の主体的な活動の場の設定に努めた。 (保護者 授業は生徒が自分(たち)で考えたり発表したりする活動を取り入れているほうだと思う。)(生徒 自分で考えたり発表したり活動したりした。)	2.9 【2.9】 (±0)	3.1 【3.0】 (+0.1)	3.2 【3.1】 (+0.1)	○ 問いを重視する授業については、教師自身が意識をして取り組んでいるところではあるが、まだ改善の余地があるという教師の自己評価である。今後は、学校訪問でご指導をいただいたことを参考に、感染予防に努めつつ、問いを重視した学習課題の設定や発問などの工夫をすることで、話し合いや発表の場面を意図的に設定し、生徒たちの主体的な学びに結びつけたい。
生徒の学習意欲を喚起するため、ICTの活用や言語活動の充実など授業の工夫改善に努めた。(保護者 子どもは授業に意欲的に取り組んでいると思う。) (生徒 授業に意欲的に取り組んだ。)	3.1 【3.1】 (±0)	3.0 【3.1】 (-0.1)	3.4 【3.4】 (±0)	○ 全クラスで電子黒板が設置され、教師自身も使用する機会が増えてきている、今後さらに効果的な活用法について研修し、実践していく必要がある。 生徒自身は、1学期同様授業については意欲的に取り組んでいると評価している。
分かる授業づくりのため、生徒の実態に応じた授業の質的改善に努めた。(保護者 子どもは、授業は楽しく分かりやすいと感じていると思う。)(生徒 授業の内容はよく分かる。)	3.2 【3.3】 (-0.1)	2.9 【3.0】 (-0.1)	3.2 【3.2】 (±0)	○ 今年は授業参観もなく、生徒の授業の様子を観る機会はほとんどないが、我が子の成績や話しかから授業の様子を推察しているものと推察できる。保護者の学力向上に対しての期待は大きい。今後も、生徒の学習状況を正しく捉えるとともに個に応じた指導を一層充実させ、楽しく分かる授業づくりをしていかなければならない。
家庭学習に習慣化を図るための指導に努めた。(保護者 子どもは家庭学習によく励んでいる) (生徒 家庭学習に励んだ。)	3.0 【3.3】 (-0.3)	2.8 【3.2】 (-0.4)	3.2 【3.2】 (±0)	○ 新型コロナウイルス感染症予防のための臨時休業が明けて、テストへの取組や提出物の提出状況などから、学習に対する取組に差が出てきていることが教師の評価から読み取れる。今後、生徒の学習の習慣化を図ることができるような課題の与え方や日常の学習の取組への指導が必要であると思われる。
【健康】心身ともに健康な生徒 ○現地指導を心がけ、意欲的に部活動に取り組めるよう指導・支援に努めた。(保護者 子どもは意欲的に部活動に取り組んでいると思う。)(生徒 部活動に意欲的に取り組んだ。)	3.3 【3.3】 (±0)	3.4 【3.4】 (±0)	3.5 【3.6】 (-0.1)	○ 2学期も新型コロナウイルス感染症予防のためにさまざまな規制があるなかで教師の指導がなされており、それを生徒も保護者も十分に理解していることが評価値に表れているように思われる。新人大会も、無観客ながら通常の日程で開催でき生徒たちも目標を持って練習に取り組むことができた。
○健康に留意した生活を送ることができるよう指導・支援に努めた。 (保護者 子どもは健康に留意して生活していると思う。) (生徒 健康に留意して生活できた。)	3.4 【3.6】 (-0.2)	3.2 【3.2】 (±0)	3.5 【3.4】 (+0.1)	○ 新型コロナウイルス感染症予防対策を継続して行っているが、寒い時期になり換気が忘れがちになったために教員の評価が下がっていると思われるが、スクールサポーターによる毎日の消毒作業など感染予防に対しては継続して行っている。
○生徒に寄りそうことを心がけ、生徒が安心して学校生活を送ることができるよう努めた。 (保護者 子どもは安心して学校に通っていると思う。) (生徒 安心して学校生活を送ることができた。)	3.5 【3.7】 (-0.2)	3.4 【3.4】 (±0)	3.6 【3.5】 (+0.1)	○ 三者とも評価値が高かった。新型コロナウイルス感染の不安の中、「教師が常に生徒とともにいる」という姿勢を2学期も教師が持って活動してきた証左である。また、二者面談や三者面談を通して担任の先生方が丁寧に対応している。そのことが、生徒及び保護者の高評価につながっているものと思われる。
○防火診断や安全点検を確実にし、生徒が安全な学校生活をおくることができるよう努めた。(保護者 学校の施設設備などの環境は整えられていると思う。)(生徒 安全を心がけて生活できた。)	3.5 【3.6】 (-0.1)	3.2 【3.3】 (-0.1)	3.6 【3.6】 (±0)	○ 2学期も、防火診断、安全点検を定期的に確実に行うことができたことや、修繕箇所の速やかな修繕を心がけたことが高評価になったと思われる。今後も早めの修理を心がけたい。生徒は、大きなけがなく、安全に過ごすことができた。
【自主自律】自主自律に努める生徒 ○生徒が自ら考え、判断して行動することを感得できる場	3.2	3.0	3.4	○ 2学期は、秋華祭をはじめ学校行事が多く、教師としては、生徒たちに自主的な活動の場を設定することができたことが評価の向上になったと思われる。生徒は、活動の場が多かった分、自分で

を設定し、指導に当たった。 (保護者 子どもは自分で考え、判断して行動しているほうだと思う。) (生徒 自分で考え、判断して行動するよう心がけた。)	【3.0】 (+ 0.2)	【3.1】 (- 0.1)	【3.5】 (- 0.1)	判断できずに教師に相談したり、友人と協力したりする場面が増えたために若干評価が下がったとも考えられる。
○誘惑に負けず、正しい判断で生活することの大切さについて指導した。 (保護者 子どもは誘惑に負けず正しい判断で生活していると思う。) (生徒 誘惑に負けず正しい判断で生活するよう心がけた。)	3.3 【3.4】 (- 0.1)	3.0 【3.0】 (± 0)	3.3 【3.3】 (± 0)	○ 1学期から大きな変化は見られない。教師も、生徒も、学校生活においては正しい判断のもと生活を送っていたと評価している。生徒を取り巻く誘惑は、非行などの反社会的な逸脱行為というよりは、ゲームや SNS 等である。家庭生活で、個人の判断により決めなくてはならないことであり、その点で、教師と保護者の評価の違いがあると思われる。
○生徒が生徒会や学級の係活動に意欲的かつ積極的に取り組めるよう指導・支援に努めた。 (保護者 家庭でのお手伝いをやっている方だと思う。) (生徒 生徒会や学級の係活動に意欲的に取り組んだ。)	3.2 【3.3】 (- 0.1)	2.8 【2.7】 (+ 0.1)	3.5 【3.4】 (+ 0.1)	○ 生徒は概ね高評価をしている、普段の委員会活動はじめ、2学期は学校行事などを通して係活動に取り組む機会が多く充実感を感じていることが評価に現れている。コロナ禍でも元気のある学校づくりに向けて取り組んできた結果である。今後も、活気あふれる学校づくりを進めていきたい。
○諦めずに努力することの大切さの指導に努めるとともにやり遂げた際は賞賛を怠らなかった。(保護者 子どもは諦めずに努力するほうだと思う。)(生徒 何事も最後まで諦めずにやり通すよう努力した。)	3.4 【3.4】 (± 0)	2.9 【2.9】 (± 0)	3.5 【3.4】 (+ 0.1)	○ 1学期と大きな変化はなかった。教師と生徒の評価値のほうが高かった。保護者の評価が低いのは、親の子に対する期待値の高さが期待と実態とのギャップとして認識されているのかもしれない。ただ、理由がいずれにせよ、粘り強く物事に取り組む姿勢は最も大切なものであり、今後さらに向上させたい。
【品位】品位のある生徒 ○生徒が進んで明るい挨拶を行うよう指導するとともに、自らも率先して挨拶した。 (保護者 子どもは自分から進んで明るい挨拶ができる。)(生徒 自分から進んで明るい挨拶を実践できた。)	3.7 【3.7】 (± 0)	3.1 【3.1】 (± 0)	3.6 【3.5】 (+ 0.1)	○ 1学期同様、教師・生徒と保護者の評価の差が大きい項目であった。学校でできていることを、家庭や実社会でも実践できるようにステージをあげた指導をする必要があると思われる。
○返事や礼など、礼儀正しい生活について指導に努め、優れた場では、賞賛・激励を行った。(保護者 子どもは返事や礼など礼儀正しいほうである。)(生徒 返事や礼など、礼儀正しい生活を心がけた。)	3.5 【3.5】 (± 0)	3.0 【3.0】 (± 0)	3.6 【3.6】 (± 0)	○ 上記の質問と似た質問項目であり、結果もほぼ同様の評価値となった。挨拶、返事、礼などは、共通性の高い大切な生活習慣であるので、今後も指導していきたい。
○諸活動においては、友だちと協力して活動することができた。(保護者 子どもは友達と仲が良いほうだと思う。)(生徒 諸活動においては友達と協力して活動できた。)	3.4 【3.4】 (± 0)	3.3 【3.3】 (± 0)	3.6 【3.6】 (± 0)	○ 全体的に評価値が高かった。学校行事や部活動をととして良好な人間関係が醸成されることが大切であり、生徒たちは協力関係のもと、活動できたことで評価が高かったと思われる。
○道徳の授業をはじめ、学校生活全体を通じて思いやりの心の涵養に努めた。(保護者 子どもは思いやりの心を有していると思う。)(生徒 思いやりの心で人と接するよう心がけた。)	3.1 【3.2】 (- 0.1)	3.3 【3.2】 (+ 0.1)	3.6 【3.6】 (± 0)	○ 1学期同様、授業や学校生活を通して思いやりの心の涵養に努めることができた。生徒たちも相手を不快にさせないような言葉を慎重に用いるよう努力している。部活動をとした人間づくり思いやりのある人間関係づくりにも努めたいところである。
【その他】 ○生徒の笑顔が絶えない充実した学校(学級)生活が送れるよう、温もりのあるふれあいに努めた(保護者 子どもは学校に行くのが楽しいと感じていると思う。)(生徒 学校生活及び学級生活は楽しく充実していた。)	3.4 【3.4】 (± 0)	3.2 【3.2】 (± 0)	3.5 【3.5】 (± 0)	○ コロナ禍でも、生徒の活動を重視し、感染予防をした上で様々な活動を実施してきた結果であると思われる。学校行事などは学校生活に潤いを与える大切なものであり、全職員で取り組んできたことが評価されたことはとてもうれしいことである。
○適宜適切な言葉かけなどを行い、生徒の心情に思いを寄せた生徒指導に努めた。 (保護者 学校は悩みなどの相談がしやすいほうだと思う。) (生徒 先生は声をかけてくれ、悩みなどの相談がしやすいと感じている。)	3.4 【3.4】 (± 0)	3.0 【3.0】 (± 0)	3.4 【3.3】 (+ 0.1)	○ この質問項目も、1学期から継続して高い評価であった。生徒たちの心のケアを第一に考え実践してきたことで教師は丁寧に生徒指導に当たることができたという評価である。何よりも生徒の評価が0.1ポイントではあるが上がったことは評価できるのではないかと。
○いじめは絶対許さないという姿勢を堅持して指導に当たった。(保護者 学校はいじめの根絶、問題行動等の未然防止に努めていると思う。) (生徒 安達中はいじめのない学校だと思っている。)	3.7 【3.7】 (± 0)	3.1 【3.1】 (± 0)	3.3 【3.3】 (± 0)	○ 1学期から大きな変化はなく、全体的に高評価であった。教師がいじめに対して、毅然として対応しようとしている姿勢であると思われる。今後も、いじめあるいはいじめと思われる事案を発見した教師はすぐに生徒指導担当者や管理職に報告、慎重かつ迅速な調査と事実確認、当該生徒に対する組織的な指導を確実に実行し、いじめのない学校づくりを進めていきたい。
○安達中生としての自覚の涵養に努めた。 (生徒 安達中生としての自覚をもって生活した。)	3.4 【3.4】 (± 0)		3.6 【3.5】 (+ 0.1)	○ 依然として生徒が高評価であり喜ばしいことである。生徒会が中心となり、キャッチコピーやイメージキャラクターの創作をしたことも安達中生としての意識を高めることになったと思われる。また、諸大会、コンクールでの生徒の活躍も安達中に対する誇りにつながり、生徒たちの自覚となっているのではないかとと思われる。
○交通事故の絶無を期した指導を適宜行った。(保護者 安全な自転車の運転等交通安全のための啓蒙活動を適切に行っていると思う。)(生徒 交通安全、交通マナーの向上を心がけ、安全な自転車運転を心がけた。)	3.4 【3.5】 (- 0.1)	3.2 【3.2】 (± 0)	3.6 【3.5】 (+ 0.1)	○ 交通安全教室や毎月の交通安全指導の実施もあり、全体的に高評価となった。しかし、事故や違反等の防止の指導については、交通マナーの指導とともに継続して行っていく必要がある。
○新型コロナウイルス感染症予防への対策を共通理解のもと組織的に行うことができた。(保護者 家庭においても感染予防に努めていると思う。)(生徒 新型コロナウイルス感染症予防のため自分がやるべきことはしっかり行った。)	3.7 【3.7】 (± 0)	3.3 【3.3】 (± 0)	3.6 【3.6】 (± 0)	○ 1学期から継続して、全職員共通認識のもと感染症予防に努めてきた結果である。また、スクールサポーターによる毎日の消毒作業も実施してきた結果でもある。行事等においても、常に感染予防を念頭に実施してきたことも高評価につながっていると、生徒自身が自覚を持って高評価している点から生徒たちに感染予防が習慣化されていることが窺える。今後も油断できない状況にあるので、継続して取り組んでいきたい。

